

〒245-0002横浜市戸塚区矢部町125

電話 045-410-7307 FAX 045-410-7308

E-mail: mail@zenryouji.jp http://www.zenryouji.jp

発行責任 善了寺 還る家とともに 担当：三根

～お米の脱穀をしました～



11月上旬の秋晴れの気持ちのいい青空のもと稲の脱穀作業を行いました。昨年同様、成宮式千歯脱穀機を使い行いました。（左写真です）

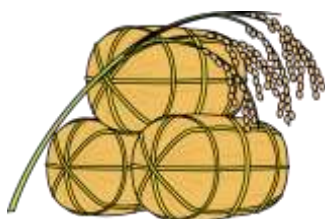
途中からは「手でやった方が楽なんじゃない？」とのことで少人数で細々と行っていました。が……



←見るに見かねて次々にヘルプが来てくれましたー



そして、授業の一環で来ていた中学生も参入し午前中では終了困難に思われた脱穀作業も小一時間であっという間に完了しました！



ご利用についてのお願い

さて、今年もインフルエンザや胃腸症状を伴う風邪、ノロウイルス等の流行が心配される時期となりました。

これからの季節、発熱や下痢、嘔吐の症状のある方はインフルエンザやノロウイルスなどの感染症の可能性も考えられます。

その様な症状があった際には、集団感染を防ぐため、当日のデイサービスはお休みのご協力、ご理解をいただきたいと思ひます。

どうぞよろしくお願いいたします。



白井宣子さんの

今日の俳句

紅葉の
散歩する道
坂の道

アンケートご協力ありがとうございました

先月に引き続きましてご利用に関するアンケートの結果を報告させていただきます。

○入浴について

とても楽しみにしていて、気持ちがよいようです。家ではとても入れなくなったので助かる

同性介助は本人のプライドも保たれていと思う(男性利用者ご家族より)

最高です(ご利用者本人筆)

自宅では週5程度独りで入浴している。洗身している様子がないのでそのうち石鹸を使って洗ってあげたいと思っている

家では独りで入るが、せっかく入ったのに頭も体も洗っていないようなときがある 紙パンツの前後も分からないし、衣類を着る順番も分からず上の服を下にはこうしたり、むちゃくちゃな日もある ただお風呂が嫌いというわけではないので、声掛けしてもらいながら入浴させてほしい

肌が弱いので、全体的によく洗ってくださればありがたい

家ではほとんど入浴しないので助かっている 体を拭くなど出来そうなところはやらせてほしい(衣類の着脱も)

冬場は体を温めるために、あったまだけ

毎日自宅で入浴しているため、今のところ入浴する予定はない

○送迎について

特にありません。変更も事前にお電話でお知らせ願えれば結構です

良いと思う

いつも丁寧に送迎してもらって感謝しています

大変良い

帰りのときに私が留守でいなかったり、遅れて帰るときには玄関先で待ってもらってすみません

送迎が早くなったり、遅くなったりは、父の場合でも結構お待たせすることが多いので、利用者側の理由とっております

○移転に際しまして

戻ることが出来るととても喜んでいる。本堂を見られて良かったといっておりました

木の香りの使いやすい感じでいい

静かで落ち着く

新しいところで皆さん快適に過ごせることが大変良いと思った

ご利用の皆様及びご家族の皆様、アンケートのご協力いただきありがとうございました。皆様からの貴重な意見を大切に、今後の介護の質の向上に努めたいと思います。今後とも宜しくお願い致します。

年末年始のお知らせ

還る家ともとの、年末の最終営業日は12月29日(木)、年始の最初の営業日は1月4日(水)となります。12月30日～1月3日はお休みとなります。

どうぞよろしくお願ひいたします。

ボランティアさん

善了寺に関わってくださっている沢山の方々にデイサービスは日々支えられています。おかげさまで、ご利用者の皆さまと心地よく過ごすことができています。ありがとうございます。

中嶋芳江 中嶋功 安藤信子 竹中秀子
山下トキエ 西岡美都里 朝倉好子
別府与志子 濱崎芳子 市野和歌子
弓削福子 矢口和子 秦野雅子 米村正男
江田峯子 中島雄子 村井ヒテ子 江尻伸子
牛島寛子 橋本淑子 長澤チヨ子 犬塚照夫
松村節子 秦野宣子 梅本忠男 小林ミエ
松田良子 森谷ミヨシ 山田ヒロ子 穴山よしお
乾隆子 内田佐知子 砂川元枝 吉高友子
敬称略

編集後記

読書の秋 = = = 皆さんもお気に入りの本はありますか？
デイにじっとしていられず、常に「どこいくのお？連れてってっ = 」とじっと座っているのが苦手なおばあちゃんがあります。しかしこの方、やなせたかし著『人間なんておかしいね』の本は読みふけられます。この集中力には感動させられます。長男が子どもの頃行った「アンパンマンショップ」で偶然買った一冊の本をページがボロボロになるまで繰り返し繰り返しめくってくれて、本も私もスタッフもこのおばあちゃんも穏やかに過ごせるひととき。読書の秋の次は読書の冬へと続きます。